

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限（2012年4月10日設定）	
運用方針	主として円建ての外国投資信託であるアムンディ・インディア・ボンド・ファンドー12Jクラスの投資信託証券への投資を通じて、インドの債券に実質的な投資を行い、主として利子収益の確保をめざして運用を行います。なお、証券投資信託であるマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券への投資も行います。円建ての外国投資信託への投資は高位を維持することを基本とします。投資対象とする円建外国投資信託は、アムンディ・シンガポール・リミテッドが運用を行います。	
主要運用対象	Navio インド債券 ファンド	アムンディ・インディア・ボンド・ファンドー12Jクラスおよびマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券を主要投資対象とします。
	アムンディ・インディア・ボンド・ファンドー12Jクラス	インドの現地通貨建て債券および短期金融商品、インドを本拠地とする、もしくは同国を主な事業拠点とする発行体が発行する米ドル建て債券、米国債、米ドル建て国際機関債および短期金融商品等を主要投資対象とします。
	マネー・マーケット・マザーファンド	わが国の公社債等を主要投資対象とします。外貨建資産への投資は行いません。
主な組入制限	投資信託証券への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への直接投資は行いません。	
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。なお、第2計算期末までの間は、収益の分配は行いません。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。

※公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象です。

詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書(全体版)

Navio インド債券ファンド



第36期（決算日：2015年4月20日）
 第37期（決算日：2015年5月18日）
 第38期（決算日：2015年6月18日）
 第39期（決算日：2015年7月21日）
 第40期（決算日：2015年8月18日）
 第41期（決算日：2015年9月18日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、お手持ちの「Navio インド債券ファンド」は、去る9月18日に第41期の決算を行いましたので、法令に基づいて第36期～第41期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

三菱UFJ投信株式会社は2015年7月1日に国際投信投資顧問株式会社と合併し、「三菱UFJ国際投信株式会社」となりました。



三菱UFJ国際投信

MUFG

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号

URL:<http://www.am.mufig.jp/>

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先

お客さま専用フリーダイヤル

TEL. 0120-151034

(9:00~17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

◆ 目次

Navio インド債券ファンドのご報告

◇最近30期の運用実績	1
◇当作成期中の基準価額と市況等の推移	2
◇運用経過	3
◇今後の運用方針	8
◇1万口当たりの費用明細	9
◇売買及び取引の状況	10
◇利害関係人との取引状況等	10
◇自社による当ファンドの設定・解約状況	10
◇組入資産の明細	11
◇投資信託財産の構成	11
◇資産、負債、元本及び基準価額の状況	12
◇損益の状況	13
◇分配金のお知らせ	14
◇お知らせ	14

投資対象ファンドのご報告

◇アムンディ・インディア・ボンド・ファンドーI 2 Jクラス	16
◇マネー・マーケット・マザーファンド	20

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近30期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	基準価額		債権比率	債券先物比率	投資信託組入比率	純資産総額
		税金	騰落				
12期(2013年4月18日)	円 11,675	円 50	% 3.1	% 0.1	% —	% 97.9	百万円 1,068
13期(2013年5月20日)	12,342	50	6.1	0.1	—	97.9	1,130
14期(2013年6月18日)	10,678	50	△13.1	0.1	—	97.4	977
15期(2013年7月18日)	10,695	50	0.6	0.1	—	97.2	979
16期(2013年8月19日)	9,764	50	△8.2	0.1	—	97.7	893
17期(2013年9月18日)	9,792	50	0.8	0.1	—	97.3	897
18期(2013年10月18日)	9,963	50	2.3	0.1	—	98.1	915
19期(2013年11月18日)	9,841	50	△0.7	0.1	—	97.6	907
20期(2013年12月18日)	10,384	50	6.0	0.1	—	97.1	966
21期(2014年1月20日)	10,695	50	3.5	0.1	—	98.1	996
22期(2014年2月18日)	10,343	50	△2.8	0.1	—	97.7	990
23期(2014年3月18日)	10,484	50	1.8	0.1	—	97.5	1,004
24期(2014年4月18日)	10,747	50	3.0	0.1	—	97.2	1,067
25期(2014年5月19日)	10,962	50	2.5	0.1	—	98.0	1,097
26期(2014年6月18日)	10,975	50	0.6	0.1	—	98.2	1,142
27期(2014年7月18日)	10,876	50	△0.4	0.1	—	98.5	1,150
28期(2014年8月18日)	10,816	50	△0.1	0.1	—	97.9	1,149
29期(2014年9月18日)	11,373	50	5.6	0.1	—	98.2	1,188
30期(2014年10月20日)	11,185	50	△1.2	0.1	—	97.3	1,171
31期(2014年11月18日)	12,226	50	9.8	0.1	—	98.0	1,271
32期(2014年12月18日)	12,009	50	△1.4	0.1	—	97.7	1,250
33期(2015年1月19日)	12,324	50	3.0	0.1	—	97.3	1,287
34期(2015年2月18日)	12,389	50	0.9	0.1	—	97.6	1,302
35期(2015年3月18日)	12,591	50	2.0	0.1	—	97.4	1,334
36期(2015年4月20日)	12,418	50	△1.0	0.1	—	97.5	1,325
37期(2015年5月18日)	12,127	50	△1.9	0.1	—	98.1	1,297
38期(2015年6月18日)	12,450	50	3.1	0.1	—	98.0	1,244
39期(2015年7月21日)	12,572	50	1.4	0.1	—	97.3	1,263
40期(2015年8月18日)	12,330	50	△1.5	0.1	—	98.0	1,241
41期(2015年9月18日)	11,776	50	△4.1	0.1	—	97.1	1,194

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは、主として円建ての外国投資信託であるアムンディ・インディア・ボンド・ファンドーI 2 Jクラスの投資信託証券への投資を通じて、インドの債券に実質的な投資を行い、主として利子収益の確保をめざして運用を行います。特定の指数を上回るまたは運動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	投 資 証 組 入 比 率	信 託 証 券 率
			騰 落 率	騰 落 率				
第36期	(期 首) 2015年3月18日	円 12,591	% -		% 0.1	% -	% 97.4	
	3月末	12,462	△1.0		0.1	-	97.2	
	(期 末) 2015年4月20日	12,468	△1.0		0.1	-	97.5	
第37期	(期 首) 2015年4月20日	12,418	-		0.1	-	97.5	
	4月末	12,231	△1.5		0.1	-	98.2	
	(期 末) 2015年5月18日	12,177	△1.9		0.1	-	98.1	
第38期	(期 首) 2015年5月18日	12,127	-		0.1	-	98.1	
	5月末	12,610	4.0		0.1	-	98.2	
	(期 末) 2015年6月18日	12,500	3.1		0.1	-	98.0	
第39期	(期 首) 2015年6月18日	12,450	-		0.1	-	98.0	
	6月末	12,363	△0.7		0.1	-	97.8	
	(期 末) 2015年7月21日	12,622	1.4		0.1	-	97.3	
第40期	(期 首) 2015年7月21日	12,572	-		0.1	-	97.3	
	7月末	12,540	△0.3		0.1	-	97.2	
	(期 末) 2015年8月18日	12,380	△1.5		0.1	-	98.0	
第41期	(期 首) 2015年8月18日	12,330	-		0.1	-	98.0	
	8月末	11,876	△3.7		0.1	-	97.5	
	(期 末) 2015年9月18日	11,826	△4.1		0.1	-	97.1	

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み合わせるので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率-売建比率。

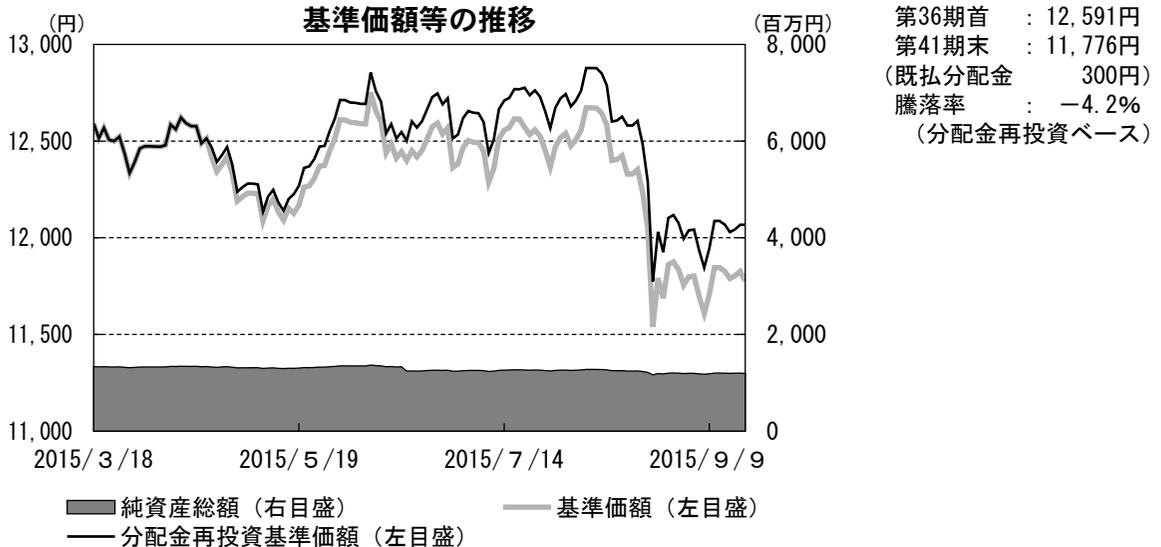
運用経過

当作成期中の基準価額等の推移について

(第36期～第41期：2015/3/19～2015/9/18)

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ4.2%（分配金再投資ベース）の下落となりました。



- ・ 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・ 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の主な変動要因

下落要因

超長期ゾーンのインドルピー建て債券の金利が上昇したこと、一部の米ドル建て債券の債券価格が下落したこと、インドルピーが対円で下落したことなどがマイナスに影響しました。

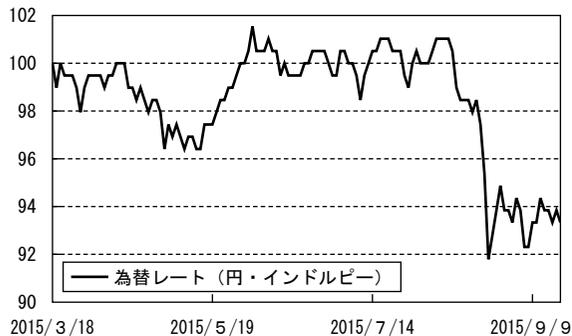
投資環境について

(第36期～第41期：2015/3/19～2015/9/18)

金利の推移



(注) 現地日付ベースで記載しております。

為替市況の推移
(当作成期首を100として指数化)

◎債券市況

- ・インドルピー建てのインド債券市場では、原油価格の動向やモンスーン（雨季）の降雨量見通しなどが材料視され、インド金利は上下する展開となりました。結果的に、作成期を通じて見ると、インド金利は、10年債金利ではほぼ横ばいだったものの、短期ゾーンでは低下し、超長期ゾーンでは上昇しました。
- ・米ドル建てのインド債券市場では、2015年8月下旬から当作成期末にかけて、中国景気減速懸念などを受けて世界的にリスク回避の動きが強まったことが影響し、スプレッド（米国債に対する上乗せ金利）は拡大しました。

◎為替市況

- ・2015年8月下旬から当作成期末にかけて、世界的にリスク回避の動きが強まり、円高・インドルピー安が進行した結果、当作成期を通じて見ると、インドルピーは対円で下落しました。

◎国内短期金融市場

- ・当作成期の短期金融市場を見ると、日銀は「量的・質的金融緩和」をめざし、マネタリーベースを操作目標として金融市場調節を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）は安定的に推移し、2015年9月18日のコール・レートは0.077%となりました。

当該投資信託のポートフォリオについて

<N a v i o インド債券ファンド>

- ・当ファンドは、円建て外国投資信託であるアムンディ・インディア・ボンド・ファンドー I 2 J クラスへの投資を通じて、インドの債券などを高位に組み入れました。また、余裕資金を効率的に運用するため、マネー・マーケット・マザーファンド投資信託証券を一部組み入れた運用を行いました。
- ・当作成期は、インド債券への投資による利子収益の獲得などはプラスに寄与したものの、超長期ゾーンのインドルピー建て債券の金利が上昇したこと、一部の米ドル建て債券の債券価格が下落したこと、インドルピーが対円で下落したことなどがマイナスに影響し、基準価額は当作成期首に比べ4.2%の下落（分配金再投資ベース）となりました。

<アムンディ・インディア・ボンド・ファンドー I 2 J クラス>

基準価額は当作成期首に比べ3.7%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

◎種別構成など

- ・インド関連の発行体が発行するインドルピー建て債券や米ドル建て債券などを組み入れたポートフォリオで運用しました。インドルピー建て債券については、流動性などを勘案し、国債を中心に事業債や政府機関債などを組み入れて運用しました。米ドル建て債券については、ファンダメンタルズが良好と考えるインド関連の発行体が発行する事業債を中心に、国際機関債を一部組み入れて運用しました。
- ・米ドル建て債券への投資分に対しては、米国債先物を売り建てることにより米国金利変動による債券価格の変動リスクを概ね回避しました。為替については、米ドル売りインドルピー買いの為替取引を行い、インドルピーの比率を高位としました。
- ・当作成期は、インド準備銀行（中央銀行）の利下げ余地があるとの見通しから、バリュエーション（投資価値基準）面で投資妙味があると判断した政府機関債などを中心にインドルピー建て債券の組み入れを高めたほか、デュレーション（平均回収期間や金利感応度）を長期化しました。
- ・その結果、ファンドのデュレーションを長期化したことは基準価額にマイナスに影響し、超長期ゾーンのインドルピー建て債券の金利が上昇したこと、一部の米ドル建て債券の債券価格が下落したこと、インドルピーが対円で下落したことなどが基準価額の下落要因となりました。

(ご参考)

利回り・デュレーション

作成期首（現地2015年3月17日）

最終利回り	5.1%
デュレーション	2.8年

- ・数値は債券現物部分で計算しております。
- ・最終利回りとは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
- ・利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
- ・デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

作成期末（現地2015年9月16日）

最終利回り	6.2%
デュレーション	4.2年

- ・数値は債券現物部分で計算しております。
- ・最終利回りとは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
- ・利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
- ・デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

<マネー・マーケット・マザーファンド>

基準価額は当作成期首に比べ0.01%の上昇となりました。

- ・コール・ローン等短期金融商品を活用しつつ、残存期間の短い国債を中心に組み入れ、利子等収益の確保を図りました。その結果、利子等収益を獲得したことにより基準価額は上昇しました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・当ファンドは、主として円建ての外国投資信託であるアムンディ・インディア・ボンド・ファンドーI 2 Jクラスの投資信託証券への投資を通じて、インドの債券に実質的な投資を行い、主として利子収益の確保をめざして運用を行いますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。
- ・従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第36期	第37期	第38期	第39期	第40期	第41期
	2015年3月19日～ 2015年4月20日	2015年4月21日～ 2015年5月18日	2015年5月19日～ 2015年6月18日	2015年6月19日～ 2015年7月21日	2015年7月22日～ 2015年8月18日	2015年8月19日～ 2015年9月18日
当期分配金	50	50	50	50	50	50
(対基準価額比率)	0.401%	0.411%	0.400%	0.396%	0.404%	0.423%
当期の収益	50	50	50	50	50	50
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	2,974	2,990	3,020	3,045	3,066	3,080

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

<N a v i o インド債券ファンド>

◎今後の運用方針

- ・運用の基本方針にしたがって、引き続き円建て外国投資信託への投資を通じてインドの債券などを高位に組み入れた運用を行うとともに、一部、マネー・マーケット・マザーファンド投資信託証券の組み入れを維持し、毎月の安定した分配をめざしていく方針です。

<アムンディ・インディア・ボンド・ファンドー I 2 Jクラス>

◎運用環境の見通し

- ・インドでは、原油などの商品市況が引き続き低水準で推移していること、政府がインフラ整備などを含めた構造改革を進めると見ていることなどを背景にインフレが抑制され、インド準備銀行はもう一段の利下げをする余地があると考えます。
- ・為替市場では、年内に開始すると見られる米国の利上げなどにより、リスク回避的な動きが強まった場合にはインドルピーも他の新興国通貨と同様に対米ドルで下落する可能性があります。しかし、インド準備銀行が為替介入などによって急激な変動を抑制すると見ていること、相対的に良好なファンダメンタルズや金利水準等を背景にインド債券市場に対する資金流入が継続すると見込まれることなどから、インドルピーは対米ドルで比較的底堅く推移すると考えます。

◎今後の運用方針

- ・インドの債券などに投資し、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざします。米ドル建て資産に投資した場合については、原則として実質インドルピー建てとなるように為替取引を行います。また、米ドル建て債券への投資分に対しては、米国債先物売り建てることにより米国金利変動による債券価格の変動リスクを回避します。
- ・当ファンドでは、インドルピー建て債券の組み入れを高めとし、債券種類別では国債のほか、財務基盤が優良だと考える政府機関債などや事業債も組み入れて運用し、長期ゾーンを嗜好したポートフォリオで運用する方針です。

<マネー・マーケット・マザーファンド>

◎運用環境の見通し

- ・国内景気は緩やかな回復局面に向かうものと思われそうですが、デフレ脱却に向けて日銀は「量的・質的金融緩和政策」を当面維持することが見込まれます。そうした環境下、短期金利は低位安定推移になると予想しています。

◎今後の運用方針

- ・運用の基本方針および前述の見通しに基づき、短期金融商品を活用しつつ、残存期間の短い国債を中心に投資し安定した収益の確保をめざしていく方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2015年3月19日～2015年9月18日)

項 目	第36期～第41期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 74	% 0.597	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(22)	(0.179)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(49)	(0.396)	分配金・償還金・換金代金支払等の事務手続き、交付運用報告書等の送付、購入後の説明・情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(3)	(0.022)	投資信託財産の保管・管理、運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	0	0.002	(b) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	74	0.599	
作成期中の平均基準価額は、12,347円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2015年3月19日～2015年9月18日)

投資信託証券

銘柄		第36期～第41期			
		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	アムンディ・インディア・ボンド・ファンド-I 2 Jクラス	千口 3	千円 38,600	千口 7	千円 85,490

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2015年3月19日～2015年9月18日)

利害関係人との取引状況

<N a v i o インド債券ファンド>

該当事項はございません。

<マネー・マーケット・マザーファンド>

区分	第36期～第41期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
公社債	百万円 23,009	百万円 6,199	% 26.9	百万円 5,200	百万円 2,100	% 40.4

平均保有割合 0.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

(注) 公社債には現先などによるものを含みません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJモルガン・スタンレー証券です。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

作成期首残高(元本)	当作成期設定元本	当作成期解約元本	作成期末残高(元本)	取引の理由
百万円 900	百万円 —	百万円 —	百万円 900	当初設定時における取得

○組入資産の明細

(2015年9月18日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	柄	第35期末	第41期末		
		口数	口数	評価額	比率
		千口	千口	千円	%
アムンディ・インディア・ボンド・ファンド-I 2 Jクラス		108	104	1,159,865	97.1
合	計	108	104	1,159,865	97.1

(注) 比率はN a v i o インド債券ファンドの純資産総額に対する比率。

親投資信託残高

銘	柄	第35期末	第41期末	
		口数	口数	評価額
		千口	千口	千円
マネー・マーケット・マザーファンド		885	885	901

○投資信託財産の構成

(2015年9月18日現在)

項	目	第41期末	
		評価額	比率
		千円	%
投資信託受益証券		1,159,865	96.6
マネー・マーケット・マザーファンド		901	0.1
コール・ローン等、その他		39,608	3.3
投資信託財産総額		1,200,374	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第36期末	第37期末	第38期末	第39期末	第40期末	第41期末
	2015年4月20日現在	2015年5月18日現在	2015年6月18日現在	2015年7月21日現在	2015年8月18日現在	2015年9月18日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	1,332,328,522	1,306,917,844	1,338,497,435	1,269,687,826	1,250,057,428	1,200,374,510
コール・ローン等	39,843,910	33,430,978	32,905,162	39,223,478	32,056,798	39,607,085
投資信託受益証券(評価額)	1,291,582,785	1,272,585,045	1,219,200,450	1,229,562,514	1,217,098,808	1,159,865,499
マネー・マーケット・マザーファンド(評価額)	901,771	901,771	901,771	901,771	901,771	901,860
未収入金	—	—	85,490,000	—	—	—
未収利息	56	50	52	63	51	66
(B) 負債	7,250,820	9,037,341	94,420,096	6,369,386	8,617,438	6,307,188
未払収益分配金	5,335,418	5,351,040	4,996,112	5,024,353	5,034,131	5,070,066
未払解約金	487,434	2,492,620	88,080,677	—	2,434,050	24,068
未払信託報酬	1,424,095	1,190,443	1,339,665	1,341,384	1,146,143	1,209,766
その他未払費用	3,873	3,238	3,642	3,649	3,114	3,288
(C) 純資産総額(A-B)	1,325,077,702	1,297,880,503	1,244,077,339	1,263,318,440	1,241,439,990	1,194,067,322
元本	1,067,083,629	1,070,208,003	999,222,595	1,004,870,794	1,006,826,238	1,014,013,365
次期繰越損益金	257,994,073	227,672,500	244,854,744	258,447,646	234,613,752	180,053,957
(D) 受益権総口数	1,067,083,629口	1,070,208,003口	999,222,595口	1,004,870,794口	1,006,826,238口	1,014,013,365口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,418円	12,127円	12,450円	12,572円	12,330円	11,776円

○損益の状況

項 目	第36期	第37期	第38期	第39期	第40期	第41期
	2015年3月19日～ 2015年4月20日	2015年4月21日～ 2015年5月18日	2015年5月19日～ 2015年6月18日	2015年6月19日～ 2015年7月21日	2015年7月22日～ 2015年8月18日	2015年8月19日～ 2015年9月18日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	8,376,455	8,192,344	8,236,619	8,175,001	8,276,615	7,652,888
受取配当金	8,374,715	8,191,131	8,235,250	8,172,673	8,274,911	7,651,280
受取利息	1,740	1,213	1,369	2,328	1,704	1,608
(B) 有価証券売買損益	△ 20,009,148	△ 32,619,384	30,216,295	10,368,486	△ 26,394,297	△ 57,187,348
売買益	7,262	127,529	32,006,429	10,372,206	49,207	45,825
売買損	△ 20,016,410	△ 32,746,913	△ 1,790,134	△ 3,720	△ 26,443,504	△ 57,233,173
(C) 信託報酬等	△ 1,427,968	△ 1,193,681	△ 1,343,307	△ 1,345,033	△ 1,149,257	△ 1,213,054
(D) 当期繰越損益金 (A+B+C)	△ 13,060,661	△ 25,620,721	37,109,607	17,198,454	△ 19,266,939	△ 50,747,514
(E) 前期繰越損益金	248,091,866	228,344,551	183,166,726	214,822,160	226,419,606	201,976,854
(F) 追加信託差損益金	28,298,286	30,299,710	29,574,523	31,451,385	32,495,216	33,894,683
(配当等相当額)	(67,738,895)	(70,141,962)	(66,918,633)	(69,158,777)	(70,371,991)	(72,753,780)
(売買損益相当額)	(△ 39,440,609)	(△ 39,842,252)	(△ 37,344,110)	(△ 37,707,392)	(△ 37,876,775)	(△ 38,859,097)
(G) 計 (D+E+F)	263,329,491	233,023,540	249,850,856	263,471,999	239,647,883	185,124,023
(H) 収益分配金	△ 5,335,418	△ 5,351,040	△ 4,996,112	△ 5,024,353	△ 5,034,131	△ 5,070,066
次期繰越損益金 (G+H)	257,994,073	227,672,500	244,854,744	258,447,646	234,613,752	180,053,957
追加信託差損益金	28,298,286	30,299,710	29,574,523	31,451,385	32,495,216	33,894,683
(配当等相当額)	(67,738,895)	(70,141,962)	(66,918,633)	(69,158,777)	(70,371,991)	(72,753,780)
(売買損益相当額)	(△ 39,440,609)	(△ 39,842,252)	(△ 37,344,110)	(△ 37,707,392)	(△ 37,876,775)	(△ 38,859,097)
分配準備積立金	249,704,946	249,883,636	234,850,849	236,908,778	238,400,169	239,602,829
繰越損益金	△ 20,009,159	△ 52,510,846	△ 19,570,628	△ 9,912,517	△ 36,281,633	△ 93,443,555

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

- ① 作成期首 (前作成期末) 元本額 1,060,143,788円
 作成期中追加設定元本額 43,921,087円
 作成期中一部解約元本額 90,051,510円

② 分配金の計算過程

項 目	2015年3月19日～ 2015年4月20日	2015年4月21日～ 2015年5月18日	2015年5月19日～ 2015年6月18日	2015年6月19日～ 2015年7月21日	2015年7月22日～ 2015年8月18日	2015年8月19日～ 2015年9月18日
費用控除後の配当等収益額	6,948,498円	6,998,676円	7,948,897円	7,581,985円	7,127,358円	6,439,842円
費用控除後・繰越欠損金控除後の有価証券売買等損益額	－円	－円	－円	－円	－円	－円
収益調整金額	67,738,895円	70,141,962円	66,918,633円	69,158,777円	70,371,991円	72,753,780円
分配準備積立金額	248,091,866円	248,236,000円	231,898,064円	234,351,146円	236,306,942円	238,233,053円
当ファンドの分配対象収益額	322,779,259円	325,376,638円	306,765,594円	311,091,908円	313,806,291円	317,426,675円
1万円当たり収益分配対象額	3,024円	3,040円	3,070円	3,095円	3,116円	3,130円
1万円当たり分配金額	50円	50円	50円	50円	50円	50円
収益分配金金額	5,335,418円	5,351,040円	4,996,112円	5,024,353円	5,034,131円	5,070,066円

○分配金のお知らせ

	第36期	第37期	第38期	第39期	第40期	第41期
1 万口当たり分配金（税込み）	50円	50円	50円	50円	50円	50円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※少額投資非課税制度「愛称：N I S A（ニーサ）」をご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<http://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

【お知らせ】

- ①2015年7月1日に国際投信投資顧問株式会社と合併し、商号を三菱UFJ国際投信株式会社へ変更し、信託約款に所要の変更を行いました。（2015年7月1日）
- ②2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2015年9月18日現在）

<マネー・マーケット・マザーファンド>

下記は、マネー・マーケット・マザーファンド全体（23,678,026千口）の内容です。

国内公社債

(A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	第41期末						
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	18,210,000 (18,210,000)	18,210,160 (18,210,160)	75.5 (75.5)	— (—)	— (—)	— (—)	75.5 (75.5)
合 計	18,210,000 (18,210,000)	18,210,160 (18,210,160)	75.5 (75.5)	— (—)	— (—)	— (—)	75.5 (75.5)

(注) ()内は非上場債で内書き。

(注) 組入比率は、親投資信託の純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) 現先の組み入れがある場合、現先は国債証券に含めて記載。

(B) 国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	第41期末			
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	%	千円	千円	
第540回国庫短期証券	—	1,560,000	1,560,000	2015/9/24
第541回国庫短期証券	—	2,800,000	2,800,000	2015/9/28
第544回国庫短期証券	—	1,300,000	1,300,006	2015/10/13
第546回国庫短期証券	—	1,000,000	1,000,000	2015/10/19
第547回国庫短期証券	—	610,000	610,001	2015/10/26
第548回国庫短期証券	—	800,000	800,005	2015/11/2
第554回国庫短期証券	—	3,000,000	3,000,036	2015/11/30
第555回国庫短期証券	—	3,500,000	3,500,035	2015/12/7
第557回国庫短期証券	—	3,640,000	3,640,076	2015/12/14
合 計		18,210,000	18,210,160	

〈参考〉投資する投資信託証券およびその概要

ファンド名	アムンディ・インディア・ボンド・ファンドー12 Jクラス	マネー・マーケット・マザーファンド
運用方針	主としてインドの現地通貨建て債券等に投資することにより安定した収益の確保および信託財産の成長をめざします。米ドル建て資産に投資した場合には、原則として実質インドルピー建てとなるように為替取引を行います。	わが国の短期公社債等を中心に投資し、利子等収益の確保を図ります。なお、市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。
主要運用対象	インドの現地通貨建て債券および短期金融商品、インドを本拠地とする、もしくは同国を主な事業拠点とする発行体が発行する米ドル建て債券、米国債、米ドル建て国際機関債および短期金融商品等	わが国の公社債等
主な組入制限	<ul style="list-style-type: none"> ・同一発行体が発行する社債および短期金融商品への投資比率は、純資産総額の10%以下とします。 ・一銘柄あたりの投資比率は、発行残高の10%以下とします。 ・デリバティブの利用はヘッジ目的に限定します。 ・純資産総額の50%以上を、インドを本拠地とする、もしくは同国を主な事業拠点とする発行体が発行する債券または短期金融商品に投資するものとします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外貨建資産への投資は行いません。 ・有価証券先物取引等を行うことができます。 ・スワップ取引は効率的な運用に資するため行うことができます。 ・金利先渡取引は効率的な運用に資するため行うことができます。
決算日	原則として、毎年12月31日	原則として毎年5月および11月の20日
分配方針	原則として、毎月最終営業日に経費控除後の利子収益および売買益等から分配を行う方針です。	信託財産から生じる利益は、信託終了時まで信託財産中に留保し、分配を行いません。

損益計算書、投資家持分純資産、投資有価証券明細表はAMUNDI PREMIA-AMUNDI INDIAN BOND FUND FINANCIAL STATEMENTS 31 December 2014版から抜粋して作成しています。

なお、開示情報につきましては、クラス分けされたものがないため、アムンディ・インディア・ボンド・ファンドで掲載しています。

(1) 損益計算書 (STATEMENT OF TOTAL RETURN)

(A) アムンディ・インディア・ボンド・ファンド

(2014年12月31日終了年度)

米ドル

収入

その他収入

—

控除：費用

監査費用

12,515

カストディアン費用

4,020

運用報酬

44,070

助言費用

8,931

登録費用

6,890

信託費用

36,000

取引費用

90

その他費用

3,861

116,377

純支出

(116,377)

投資収益

実現損益

1,234,753

外国為替先渡取引実現損

213,007

先物取引実現損益

(194,857)

外国為替取引実現損

32,188

1,285,091

税引き前収益

1,168,714

控除：所得税

(39,421)

税引き後配当前収益

1,129,293

(B) マネー・マーケット・マザーファンド

24頁の損益の状況をご参照ください。

(2) 投資家持分純資産

(2014年12月31日終了年度)

米ドル

決算期初

前期表示額 12,341,461

オペレーション

オペレーションにより変化した投資家持分純資産 1,129,293

投資行動による投資家持分純資産の増減

設定	3,021,757
解約	(1,974,097)

設定解約による投資家持分純資産の増減 1,047,660

分配金額 (1,156,318)

投資家持分純資産の増加/(減少)合計額 1,020,635

決算期末における投資家持分純資産 13,362,096

(3) 投資有価証券明細表

(A) アムンディ・インディア・ボンド・ファンド

(2014年12月31日現在)

業種別	保有額面	時価評価	
		米ドル	投資家持分 純資産対比 %
時価評価債券			
銀行			
Asian Development Bank GMTN 2.25% 18/08/2017	350,000	360,705	2.70
HDFC Bank Limited EMTN 3% 06/03/2018	600,000	606,171	4.54
ICICI Bank Limited 4.75% 25/11/2016	500,000	523,187	3.92
State Bank of India 4.5% 27/07/2015	600,000	610,575	4.57
		<u>2,100,638</u>	<u>15.73</u>
電力			
NTPC Limited EMTN 5.625% 14/07/2021	800,000	883,644	6.61
金融			
Power Finance Corporation Limited Series 89A 9.52% 02/05/2017	50,000,000	806,654	6.04
Rural Electrification 9.25% 27/08/2017	50,000,000	803,477	6.01
		<u>1,610,131</u>	<u>12.05</u>
政府			
Government of India 7.28% 03/06/2019	100,000,000	1,545,645	11.57
Government of India 8.07% 03/07/2017	100,000,000	1,588,942	11.89
Government of India 8.12% 10/12/2020	50,000,000	795,984	5.96
Government of India 8.19% 16/01/2020	100,000,000	1,593,283	11.92
		<u>5,523,854</u>	<u>41.34</u>
石油ガス			
Bharat Petroleum Corporation Limited 4.625% 25/10/2022	500,000	510,085	3.82
ONGC Videsh Limited 2.5% 07/05/2018	800,000	793,664	5.94
Reliance Holdings USA Incorporation 5.4% 14/02/2022	500,000	547,003	4.09
		<u>1,850,752</u>	<u>13.85</u>
公益			
Power Grid Corporation of India 3.875% 17/01/2023	500,000	492,368	3.68
未収経過利息			
		<u>281,107</u>	<u>2.10</u>
投資資産			
		12,742,494	95.36
その他純資産			
		619,602	4.64
投資家持分純資産			
		<u>13,362,096</u>	<u>100.00</u>

(B) マネー・マーケット・マザーファンド

23頁の組入資産の明細をご参照ください。

マネー・マーケット・マザーファンド

《第21期》決算日2015年5月20日

[計算期間：2014年11月21日～2015年5月20日]

「マネー・マーケット・マザーファンド」は、5月20日に第21期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第21期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	わが国の短期公社債等を中心に投資し、利子等収益の確保を図ります。なお、市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。
主要運用対象	わが国の公社債等を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資は行いません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準	価額		債組入比率	債券率	債先物比率	債券率	純資産額
		騰	落					
	円		%		%		%	百万円
17期(2013年5月20日)	10,174		0.0	84.0	—	—	—	2,855
18期(2013年11月20日)	10,178		0.0	87.7	—	—	—	2,850
19期(2014年5月20日)	10,180		0.0	84.7	—	—	—	2,716
20期(2014年11月20日)	10,183		0.0	84.3	—	—	—	2,373
21期(2015年5月20日)	10,183		0.0	89.3	—	—	—	1,959

(注) 当ファンドは主として短期債券、コール・ローンなどによる運用を行い、安定的な収益の確保をめざすファンドであり、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準	価額		債組入比率	債券率	債先物比率	債券率
		騰	落				
(期首)	円		%		%		%
2014年11月20日	10,183		—	84.3	—	—	—
11月末	10,183		0.0	90.0	—	—	—
12月末	10,183		0.0	85.3	—	—	—
2015年1月末	10,183		0.0	92.4	—	—	—
2月末	10,183		0.0	82.7	—	—	—
3月末	10,183		0.0	93.7	—	—	—
4月末	10,183		0.0	94.2	—	—	—
(期末)							
2015年5月20日	10,183		0.0	89.3	—	—	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

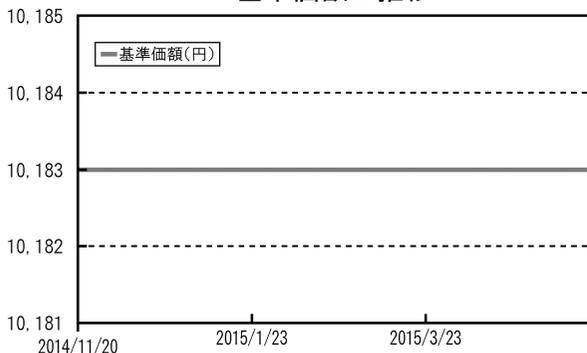
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ横ばいとなりました。

基準価額の推移



●投資環境について

◎国内短期金融市場

期中の短期金融市場を見ると、日銀は「量的・質的金融緩和」をめざし、マネタリーベースを操作目標として金融市場調節を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）は安定的に推移し、2015年5月20日のコール・レートは0.069%となりました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

コール・ローン等短期金融商品を活用しつつ、残存期間の短い国債を中心に組み入れ、利子等収益の確保を図りました。その結果、利子等収益を獲得したものの、組入債券が小幅に下落したことなどから基準価額は横ばいとなりました。

○今後の運用方針

◎運用環境の見通し

・国内景気は緩やかな回復局面に向かうものと思われませんが、デフレ脱却に向けて日銀は「量的・質的金融緩和政策」を当面維持することが見込まれます。そうした環境下、短期金利は低位安定推移になると予想しています。

◎今後の運用方針

・運用の基本方針および前述の見通しに基づき、短期金融商品を活用しつつ、残存期間の短い国債を中心に投資し安定した収益の確保をめざしていく方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2014年11月21日～2015年5月20日)

該当事項はございません。

○売買及び取引の状況

(2014年11月21日～2015年5月20日)

公社債

		買付額	売付額
国内	国債証券	千円 21,730,623	千円 20,430,686 (1,550,000)

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2014年11月21日～2015年5月20日)

利害関係人との取引状況

区分	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人との取引状況D	
			$\frac{B}{A}$			$\frac{D}{C}$
公社債	百万円 7,299	百万円 2,999	% 41.1	百万円 5,999	百万円 700	% 11.7
現先取引(公社債)	14,430	5,350	37.1	14,430	5,350	37.1

(注) 公社債には現先などによるものを含みません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJモルガン・スタンレー証券、モルガン・スタンレーMUF G証券です。

○組入資産の明細

(2015年5月20日現在)

国内公社債

(A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区分	当			期			末		
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率				
					5年以上	2年以上	2年未満		
	千円	千円	%	%	%	%	%	%	
国債証券	1,750,000 (1,400,000)	1,750,095 (1,399,994)	89.3 (71.4)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	89.3 (71.4)	
合計	1,750,000 (1,400,000)	1,750,095 (1,399,994)	89.3 (71.4)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	89.3 (71.4)	

(注) ()内は非上場債で内書き。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) 現先の組み入れがある場合、現先は国債証券に含めて記載。

(B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	当			期		末
	利率	額面金額	評価額	償還年月日		
国債証券	%	千円	千円			
第522回国庫短期証券	—	300,000	300,000	2015/7/6		
第532回国庫短期証券	—	1,100,000	1,099,994	2015/8/17		
第331回利付国債(2年)	0.1	200,000	200,050	2015/8/15		
第332回利付国債(2年)	0.1	150,000	150,051	2015/9/15		
合計		1,750,000	1,750,095			

○投資信託財産の構成

(2015年5月20日現在)

項目	当		期		末
	評価額	比率			
	千円			%	
公社債	1,750,095			89.3	
コール・ローン等、その他	210,300			10.7	
投資信託財産総額	1,960,395			100.0	

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2015年5月20日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,960,395,399
コール・ローン等	210,220,805
公社債(評価額)	1,750,095,800
未収利息	78,794
(B) 負債	802,372
未払解約金	802,372
(C) 純資産総額(A-B)	1,959,593,027
元本	1,924,361,734
次期繰越損益金	35,231,293
(D) 受益権総口数	1,924,361,734口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,183円

＜注記事項＞

①期首元本額	2,330,826,446円
期中追加設定元本額	10,374,332,763円
期中一部解約元本額	10,780,797,475円

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

三菱UFJ D C金利連動アロケーション型バランスファンド	288,416,273円
三菱UFJ 新興国通貨建て債券ファンド(毎月決算型)	5,226,135円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型)	14,525,380円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース>(毎月分配型)	2,727,794円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<ユーロコース>(毎月分配型)	101,543円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型)	81,714,442円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	152,186,197円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<南アフリカランドコース>(毎月分配型)	429,650円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース>(毎月分配型)	7,467,710円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>	485,467,302円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<中国元コース>(毎月分配型)	128,906円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<インドネシアルピアコース>(毎月分配型)	1,799,230円
ブラデスコ ブラジル成長株オープン・マネーボール・ファンド	2,017,437円
米国ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型)	248,106円
米国ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型)	712,999円
米国ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	862,076円
米国ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<新興国バスケット通貨コース>(毎月分配型)	299,514円
米国ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>	981,935円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース>(毎月分配型)	374,779円
PIMCO ニューワールド円インカムファンド(毎月分配型)	42,384,248円
PIMCO ニューワールド米ドルインカムファンド(毎月分配型)	3,558,532円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース>(毎月分配型)	35,941,494円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	938,449円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型)	358,088円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型)	2,100,667円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	3,836,590円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース>(毎月分配型)	923,745円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>	5,525,461円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型)	23,152,810円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース>(毎月分配型)	5,011,602円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型)	4,071,402円

○損益の状況 (2014年11月21日～2015年5月20日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	414,231
受取利息	414,231
(B) 有価証券売買損益	△ 313,122
売買益	101,626
売買損	△ 414,748
(C) 当期損益金(A+B)	101,109
(D) 前期繰越損益金	42,568,332
(E) 追加信託差損益金	189,850,117
(F) 解約差損益金	△197,288,265
(G) 計(C+D+E+F)	35,231,293
次期繰越損益金(G)	35,231,293

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

三菱UFJ	新興国高利回り社債ファンド	通貨選択シリーズ<ブラジルレアルコース>	(毎月分配型)	43,682,881円
三菱UFJ	新興国高利回り社債ファンド	通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース>	(毎月分配型)	389,070円
三菱UFJ	新興国高利回り社債ファンド	通貨選択シリーズ<アジアバスケット通貨コース>	(毎月分配型)	780,306円
三菱UFJ	新興国高利回り社債ファンド	通貨選択シリーズ<マネーブルーファンド>		29,100,616円
三菱UFJ	欧州ハイイールド債券ファンド	通貨選択シリーズ<円コース>	(毎月分配型)	2,221,253円
三菱UFJ	欧州ハイイールド債券ファンド	通貨選択シリーズ<ユーロコース>	(毎月分配型)	1,784,459円
三菱UFJ	欧州ハイイールド債券ファンド	通貨選択シリーズ<豪ドルコース>	(毎月分配型)	2,576,702円
三菱UFJ	欧州ハイイールド債券ファンド	通貨選択シリーズ<ブラジルレアルコース>	(毎月分配型)	3,148,614円
三菱UFJ	欧州ハイイールド債券ファンド	通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース>	(毎月分配型)	67,305円
三菱UFJ	欧州ハイイールド債券ファンド	通貨選択シリーズ<マネーブルーファンド>		3,492,620円
三菱UFJ	欧州ハイイールド債券ファンド	ユーロ円プレミアム	(毎月分配型)	78,483,503円
欧州ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジあり)				2,069,498円
欧州ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジなし)				1,726,413円
新興国ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジあり)				1,068円
新興国ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジなし)				20,706円
三菱UFJ	米国リートファンドA<為替ヘッジあり>		(毎月決算型)	491,836円
三菱UFJ	米国リートファンドB<為替ヘッジなし>		(毎月決算型)	98,368円
三菱UFJ	UBS グローバル好利回CBファンド2012-11		(円ヘッジ)(限定追加型)	10,816,126円
PIMCO	ニューワールドインカムファンド<メキシコペソ>		(毎月分配型)	47,835,444円
PIMCO	ニューワールド円インカムファンド		(年2回分配型)	168,137円
PIMCO	ニューワールド米ドルインカムファンド		(年2回分配型)	472,643円
PIMCO	ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース>		(年2回分配型)	20,660円
PIMCO	ニューワールドインカムファンド<ブラジルレアルコース>		(年2回分配型)	20,637円
PIMCO	ニューワールドインカムファンド<メキシコペソコース>		(年2回分配型)	2,438,810円
三菱UFJ	新興国高利回り社債ファンド	通貨選択シリーズ<メキシコペソコース>	(毎月分配型)	4,073,259円
三菱UFJ	新興国高利回り社債ファンド	通貨選択シリーズ<トルコリラコース>	(毎月分配型)	688,506円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン	通貨選択シリーズ<米ドルコース>		(毎月分配型)	19,658円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン	通貨選択シリーズ<メキシコペソコース>		(毎月分配型)	19,658円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン	通貨選択シリーズ<トルコリラコース>		(毎月分配型)	19,658円
三菱UFJ	米国高配当株式プラス<為替ヘッジあり>		(毎月決算型)	491,449円
三菱UFJ	米国高配当株式プラス<為替ヘッジなし>		(毎月決算型)	9,828,976円
PIMCO	ニューワールドインカムファンド<世界通貨分散コース>		(毎月分配型)	19,255,183円
PIMCO	ニューワールドインカムファンド<世界通貨分散コース>		(年2回分配型)	554,804円
バリュー・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型>			(毎月決算型)	1,936,118円
バリュー・ボンド・ファンド<為替ヘッジなし>			(毎月決算型)	9,829円
バリュー・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型>			(年1回決算型)	9,829円
バリュー・ボンド・ファンド<為替ヘッジなし>			(年1回決算型)	9,829円
三菱UFJ	米国バンクローンファンド	通貨選択シリーズ<円コース>	(毎月分配型)	15,049,666円
三菱UFJ	米国バンクローンファンド	通貨選択シリーズ<米ドルコース>	(毎月分配型)	20,551,717円
三菱UFJ	米国バンクローンファンド	通貨選択シリーズ<豪ドルコース>	(毎月分配型)	3,730,759円
三菱UFJ	米国バンクローンファンド	通貨選択シリーズ<ブラジルレアルコース>	(毎月分配型)	5,059,469円
三菱UFJ	米国バンクローンファンド	通貨選択シリーズ<メキシコペソコース>	(毎月分配型)	5,519,741円
三菱UFJ	米国バンクローンファンド	通貨選択シリーズ<トルコリラコース>	(毎月分配型)	252,058円
三菱UFJ	米国バンクローンファンド	通貨選択シリーズ<ロシアルーブルコース>	(毎月分配型)	6,618,213円
三菱UFJ	米国バンクローンファンド	通貨選択シリーズ<円コース>	(年2回分配型)	3,737,703円
三菱UFJ	米国バンクローンファンド	通貨選択シリーズ<米ドルコース>	(年2回分配型)	6,435,081円
三菱UFJ	米国バンクローンファンド	通貨選択シリーズ<豪ドルコース>	(年2回分配型)	686,803円
三菱UFJ	米国バンクローンファンド	通貨選択シリーズ<ブラジルレアルコース>	(年2回分配型)	627,788円
三菱UFJ	米国バンクローンファンド	通貨選択シリーズ<メキシコペソコース>	(年2回分配型)	608,110円
三菱UFJ	米国バンクローンファンド	通貨選択シリーズ<トルコリラコース>	(年2回分配型)	46,726円
三菱UFJ	米国バンクローンファンド	通貨選択シリーズ<ロシアルーブルコース>	(年2回分配型)	895,906円
三菱UFJ	米国バンクローンファンド	通貨選択シリーズ<マネーブルーファンドA>		36,583,200円
三菱UFJ	米国バンクローンファンド	通貨選択シリーズ<マネーブルーファンドB>		980,075円
三菱UFJ	ビムコ トータル・リターン・ファンド<米ドルヘッジ型>		(毎月決算型)	1,423,307円
三菱UFJ	ビムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし>		(毎月決算型)	3,270,787円
三菱UFJ	ビムコ トータル・リターン・ファンド<米ドルヘッジ型>		(年1回決算型)	1,168,184円
三菱UFJ	ビムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし>		(年1回決算型)	2,065,331円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン	Cコース		(為替ヘッジなし)(年1回決算型)	983円

ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Dコース (為替ヘッジあり) (年1回決算型)	983円
三菱UFJ/UBS グローバル好利回CBファンド2013-11 (円ヘッジ) (限定追加型)	982,608円
三菱UFJ/ビムコ トータル・リターン・ファンド2014	256,356円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジあり> (毎月分配型)	2,827,156円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジなし> (毎月分配型)	9,387,547円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	3,545,187円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	8,124,755円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり> (年1回決算型)	2,990,177円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	3,377,211円
PIMCO インカム戦略ファンド<円インカム> (毎月分配型)	151,268円
PIMCO インカム戦略ファンド<円インカム> (年2回分配型)	168,922円
PIMCO インカム戦略ファンド<米ドルインカム> (毎月分配型)	1,674,507円
PIMCO インカム戦略ファンド<米ドルインカム> (年2回分配型)	658,018円
PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	9,991,470円
PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	1,616,484円
三菱UFJ/AMP オーストラリア・ハイインカム債券ファンド 豪ドル円プレミアム (毎月決算型)	25,537,767円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 米ドル円プレミアム (毎月分配型)	42,906,570円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 米ドル円プレミアム (年2回分配型)	8,585,548円
Navio インド債券ファンド	885,566円
Navio マネーボールファンド	1,412,300円
三菱UFJ インド債券オープン (毎月決算型)	39,351円
バンクローンファンドUSA (為替ヘッジあり) 2014-08	11,276,260円
マネーボールファンド (FOFs用) (適格機関投資家限定)	116,474円
MUAM トピックスリスクコントロール (5%) インデックスファンド (FOFs用) (適格機関投資家限定)	132,261,881円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Aコース (為替ヘッジなし)	16,982,851円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Bコース (為替ヘッジあり)	34,396,392円
三菱UFJ バランス・イノベーション (債券重視型)	22,527,760円
三菱UFJ/AMP オーストラリアREITファンド<Wプレミアム> (毎月決算型)	11,293,333円
三菱UFJ Jリート不動産株ファンド<Wプレミアム> (毎月決算型)	6,324,266円
三菱UFJ Jリート不動産株ファンド<米ドル投資型> (3ヵ月決算型)	3,063,931円
PIMCO 米国バンクローンファンド<米ドルインカム> (毎月分配型)	1,375,824円
PIMCO 米国バンクローンファンド<米ドルインカム> (年2回分配型)	1,071,396円
マルチストラテジー・ファンド (ラップ向け)	491,015円
PIMCO 米国バンクローンファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	348,621円
PIMCO 米国バンクローンファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	59,905円
PIMCO 米国バンクローンファンド<円インカム> (年2回分配型)	10,804円
PIMCO 米国バンクローンファンド<円インカム> (毎月分配型)	10,804円
三菱UFJ 債券バランスファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	983円
三菱UFJ 債券バランスファンド<為替リスク軽減型> (年1回決算型)	983円
三菱UFJ 債券バランスファンド<為替リスク軽減型> (毎月決算型)	983円
三菱UFJ 債券バランスファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	983円
三菱UFJ バランス・イノベーション (株式抑制型)	0円
三菱UFJ DCバランス・イノベーション (KAKUSHIN)	0円
MUAM トピックスリスクコントロール (10%) インデックスファンド (FOFs用) (適格機関投資家限定)	0円
三菱UFJ バランス・イノベーション (新興国投資型)	0円
三菱UFJ バランス・イノベーション (株式重視型)	0円
合計	1,924,361,734円

【お知らせ】

デリバティブ取引等のリスク量計算を規格化し、定量的に規制する旨を信託約款に記載し、所要の変更を行いました。
(2014年12月1日)